



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- |           |       |           |        |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長      | 加藤 仁昭 | ● 会長エレクト  | 飯田 泰之  |
| ● 副会長     | 伊東 英紀 | ● 副会長     | 山本 登   |
| ● 幹事      | 天野 公史 | ● 副幹事     | 西山 潔   |
| ● 会計      | 朝日 達夫 | ● 会計      | 田口 健太郎 |
| ● S A A   | 山本 芳弘 | ● 副 S A A | 吉田 隆男  |
| ● 副 S A A | 横溝 亘  | ● クラブ会報   | 小山市 康  |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



**事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555  
**例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2011-2012年度 第16号週報 No. 1715 2011年(平成23年) 10月28日 第1715回例会記録 11月4日発行

**司会** 西山 潔 副幹事

**点鐘** 加藤 仁昭 会長

**斉唱** 「手に手つないで」

**結婚記念日祝** 天野 公史 会員 (10月29日)  
横山 範夫 会員 (10月31日)



**ロータリーの綱領** 山崎 善也 職業分類・会員選考委員長 (第1例会のみ)

**四つのテスト** 植田 清司 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

### ゲスト紹介

轟 淳次 様 (地区R情報・広報・IT委員会 委員長)  
小山 宏明 様 (地区R情報・広報・IT委員会 副委員長)

**ビジター紹介** 綾瀬 R C 関川秀三郎 様

### 本日〈11月4日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 ノルウェーサーモンのムニエル
- ◆ 卓話 「拉致の現状と今後の展望」

北朝鮮拉致家族会「救う会」 事務局長 平田隆太郎 様  
(紹介者 田口健太郎 会員)

## 会長報告

加藤 仁昭 会長

・臨時総会の件

## 幹事報告

天野 公史 幹事

・ボーイスカウト神奈川連盟より、東日本大震災の発生により平成23年度チャリティーゴルフ中止のお知らせが来ておりますのでご報告申し上げます。

## 委員会報告

地区RYLA委員会 委員 山田 正憲

7月より8回の委員会を経て、10/21～23日に、地区RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）を行いました。本年度は年齢を18～30歳に絞り、東日本大震災の復興支援プログラムを企画立案するという内容で望みました。

21日の朝に初めて会った5グループ（計36名）の参加者が川野パストガバナーの講義を受けた後、宮城県亶理郡山元町の被災地で2日間にわたり視察とボランティア活動をしてプログラムをまとめパワーポイントを使って23日の新世代交換会で発表、しかも、審査の間は復興支援の街頭募金も行うという大変ハードなものでした。

どのグループの発表も大変すばらしく甲乙つけがたい内容でしたが、その中の最優秀賞に選ばれたプログラムが11月5日の地区大会で発表されます。是非、その発表をご覧ください。



R情報、広報・IT委員会 委員長 赤堀 和人

東日本大震災被災地支援募金のシリコンリストバンドの売上金額は44,500円となりました。ご協力ありがとうございました。

## 出席報告

金森 欣一 出席委員長

会員総数	56名	(40+16)名	
出席会員数	45名	(31+14)名	
出席率	83.33%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	93.62%	前々回補正後	94.44%

## スマイルボックス

山本 芳弘 SAA

地区R情報・広報・IT委員長 轟 淳次様、副委員長 小山宏明様  
本日は、地区R情報・広報・IT委員会よりお伺い致しました。シリコンリストバンドの利益を、義援金として使わせて頂きたいと思っております。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

綾瀬RC 関川秀三郎様

いつもお世話になります。

横山範夫君 ①結婚記念日祝い、ありがとうございます。10月31日で35年となります。妻には感謝・・・②大橋さん、新チャンピオン誕生、おめでとうございます。

天野公史君 ①結婚記念日祝い、ありがとうございます。二人で良い景色と美味しいものでも思っています。②大橋さん、八重樫新チャンピオンおめでとうございます。③友添マスター、副マスター、テーブルミーティング、ありがとうございます。二次会組、それぞれにお疲れ様でした。

加藤仁昭君 ①昨日の第一テーブルミーティング、友添マスター、お世話になりました。二次会では脇田さん、楽しかったです。②白井会員、イニシエーション、楽しみにしています。

田邊正彦君 白井会員のイニシエーションスピーチ、楽しみにしております。

石川正三君 大橋さん、おめでとうございます。新チャンピオンに今度は是非、クラブの“リング”で「卓話」に挑戦させて下さい。期待しています。

岩澤利雄君 大橋さん、世界チャンピオンの誕生、おめでとうございます。

月山 勇君 ①昨日の第一テーブルミーティングでは、友添マスター、須永副マスターにはお世話になりました。久々の二次会、三次会、疲れました。飯田さん、西山さん、植田さん、お付き合いありがとうございます。②大橋会長、ミニマム級世界チャンピオン誕生、おめでとうございます。新チャンピオンとの“キス”、味はいかがでしたか？

小池将夫君 ①サケの会の皆様、私的事で中止にしてしまい、申し訳ありませんでした。②田邊さん、この度は大変お世話になります。

江森国一君 ①須永さん、朝日さん、色々お世話になりました。楽しかったですね。②大橋会長、新チャンピオン、おめでとうございます。

西山 潔君 ①大橋会長、世界チャンピオン誕生、おめでとうございます。最高の試合でしたね。②昨日の第一テーブルミーティング、友添マスター、須永サブマスター、お疲れ様でした。

川邊正男君 昨日の第一テーブルミーティング出席の皆様、お疲れ様でした。友添マスター、ご苦労様でした。

山田正憲君 ①大橋さん、チャンピオン誕生、おめでとうございます。②白井さん、イニシエーションスピーチ、楽しみにしています。

角田伯雄君 白井さん、イニシエーションスピーチ、頑張ってください。

植田清司君 昨日の第一テーブルミーティング、テーブルマスター友添さん、副マスター須永さん、ご苦労様でした。有意義なひとときを過ごさせて頂きました。

須永久一君 昨日の第一テーブルミーティングご参加の皆様、お疲れ様でした。

脇田いずゞさん 第一テーブルミーティング、お疲れ様でした。楽しい夜を過ごしました。加藤会長、川邊さん、天野さん、お世話になりました。

赤堀和人君 本日は轟委員長、小山副委員長、お越し下さいましてありがとうございます。

友添辰哉君 昨日の第一テーブルの皆様、お疲れ様でした。山ちゃん、途中で・・・朝まで付き合えずかたじけない！

小山市康君 白井さん、イニシエーションスピーチ、楽しみにしています。

吉田隆男君 ギリシャ問題、円高等、日本はどうなるのでしょうか。ネガティブな今日この頃です。

山本芳弘君 ①大橋会長、八重樫選手チャンピオンおめでとうございます。②昨日の第一テーブル参加の皆様、お疲れ様でした。③白井さん、イニシエーションスピーチ、楽しみにしています。

10月28日	23件	49,000円
本年度累計		768,778円

## 卓 話

### イニシエーションスピーチ

白井 康夫 会員



白井康夫と申します。よろしくお願ひ致します。まず、生い立ちから述べたいと思います。出身地は神奈川県横浜市です。生まれも育ちも地元横浜で生粋の浜っ子です。出生は昭和44年2月1日で現在42歳です。長男です。ちなみに兄弟は3人で、上が姉、下が妹なので男は私ひとりだけです。生まれた病院はけいゆう病院です。生まれた時の体重が2600gほどで、未熟児手前だったそうです。病院に行った父が新生児室で並んで寝ていた赤ちゃんで私が一番小さかった為、すぐにわかったそうです。幼稚園に入るころまでは手のかかる子供だったそうです。1歳すぎにはハイハイをして家出して

しまい大騒ぎになったこともあるそうです。

幼稚園は神奈川区の新子安にある私立一宮幼稚園に入園しました。そこで2年間過ごしました。

小学校は横浜市立西寺尾小学校に入学しました。低学年の頃はやんちゃ坊主で授業参観にきた母や父に恥ずかしい思いをさせることもあったようです。小学校4年生あたりから、私立中学受験の為、塾に通うようになり、高学年の頃は塾での生活のほうが学校より長くなりました。

中学校は神奈川区の私立浅野中学校に入学しました。浅野は中高一貫教育の男子校で、高等学校も自動的に（成績が悪くなければ）入学出来ることとなります。

当時の校長先生は神奈川東ロータリークラブの会員でもございました故石山延雄先生でした。入学に際しましては、もう一つ思い出があります。それは当時古川病院の院長であられた古川俊一郎先生が合格発表の前日の夜中に電話で合格を知らせて下さったことです。古川先生は浅野の学校医をされており、その関係でロータリーの繋がりがあって連絡して下さったのだと思います。ちなみに浅野に入学した後も健康診断等でお会いした時、暖かく声を掛けて頂きましたことが子ども心にも嬉しく印象に残っております。また予防接種の時には大先生の横に若き陽太郎先生もいらっしゃったことを覚えております。浅野では、中学2年の時に書道部に入部しました。それから高校2年生まで活動し、高校1、2年では部長を務めさせて頂きました。

一浪の末、大学は慶応義塾大学商学部に入りました。世間ではいわゆる慶応ボーイと称される慶大生ですが、大学からの入学者は慶応ボーイとは言わないそうです。当時はバブルの崩壊直前で世間自体が浮かれムードでした。

大学では経済新人会というサークルで主な活動をしておりました。そんな学生時代ですから、就職状況も完全な売り手市場で、会社の就職関係の資料が3年生のときに山ほど届いていたのを覚えています。

私は3年生から公認会計士資格取得のためTACという専門学校に入学し、大学と専門学校とのダブルスクールの日々を送っていました。大学卒業後はしばらく資格取得のため就職せず、受験勉強に専念しておりました。その過程で公認会計士の試験はなかなか受からず、税理士試験の科目は2科目合格したので、平成10年に会計士の資格はあきらめ、働きながら税理士の資格を取ることにしました。

そして父の事務所である白井恒夫税理士事務所に入所しました。

平成11年4月、税理士資格取得のため早稲田大学大学院法学研究科に入学しました。その後平成13年3月に修士論文を書き終えて、卒業しました。

父の事務所での2年間以上にわたる実務経験を終え、平成14年1月に税理士登録を致しました。その間、会計事務所を通じて知り合った家内と平成14年3月に結婚をしました。

さて、税理士登録後も勤務税理士として父の事務所での研鑽を積んでいきましたが、平成21年7月に父が他界し、父の事務所を引き継ぐ形で、平成21年7月、白井康夫税理士事務所を開業しました。現在スタッフは7名、中堅規模の税理士事務所として事業を営んでおります。

ここで、父のことについて少し述べたいと思います。父は私が学生のころも仕事やロータリーの話は家ではあまりしませんでした。



仕事については、成長するにつれて自然と父の家業を継承するものと思っておりましたし、父もそう考えておりました。父の事務所に勤務するようになった時も、実務面での具体的な仕事の指導は受けていなかったと記憶しております。

ただ、父から仕事面で教わった最も印象深い言葉があります。それは「お客さまの家の冷蔵庫の中身を知るようになるまでとことんお付き合い下さい」ということです。これは、私の仕事に対する姿勢の教訓として今までもそしてこれからも肝に銘じていかねばならぬ教えであると確信しております。常にお客様の立場に立って、お客様の事業の繁栄をお客様と一緒に考え、ともに行動するという意味であると理解しております。

また、ロータリーに関しましても父が生前のようなお付き合いをしていたかはわかりませんでした。ただ、父の葬儀のときに当時の会長であられた河野様より、弔辞を頂いたおりにロータリーにおける父の行動の一端を垣間見ることが出来ました。

以上長々と述べましたが、私の半生は、まさに父の背中をみて育ったようなものです。今、父亡きあと、父と同じように生きることが出来ませんが、父の良き教えは堅持しつつ私の独自性を出せたら幸いと思っています。ロータリーに関しても父と同様人生の一部として関わっていこうと思っております。

以上です。ご静聴ありがとうございました。

## 2009-11 年度 R 財団国際親善奨学生 石田美緒さんからの最終報告

R 財団国際親善奨学生としてイタリアへ留学しておりました石田美緒さんから、最終報告が届きました。

近況と致しましては、ローマ大学大学院博士課程に合格したのあと 3 年イタリアで過ごされるそうです。

### 最終報告書

2009-2011年度 2590地区 R 財団国際親善奨学生  
石田美緒（神奈川県 R C）  
Letteratura italiana contemporanea（イタリア現代文学）  
Università degli Studi di Roma “La Sapienza”（ローマ大学「ラ・サピエンツァ」）

私がロータリー財団奨学生としてイタリア・ローマに到着してから、既に 2 年が経過しました。たくさんの出来事がありましたが、イタリア語で論文を一本書き上げることができました。ほぼ毎日国立図書館や大学の図書館に通いましたが、多くの本や評論を読んだ結果として、この論文を書くことができたわけです。私にとっては、もちろん、イタリア語で論文を書くことは非常に難しいことでした。そこでローマ大学での私の指導教官にお願いして、イタリア文学をよく知っている人物に論文をみてもらうことにしました。大学院生の彼女は私を親切に助けてくれたために、イタリア語で適切な論文を書くことが出来ました。

ローマ大学の教授は非常に親切で、また、彼の授業は、イタリ

ア文学における問題について考えさせられました。もし彼の授業に出席していなかったならば、彼の言及する評論文を読む機会はなかったと思います。ですので、教授には心から感謝しております。

私のイタリア語の能力につきましては、非常に向上したと思います。イタリア語を使用した、校正や翻訳の小さな仕事を始めました。もちろんまだ勉強を続けていかなくてはならないのですが（特に接続法と条件法）、とにかく、イタリアで勉強する機会がありましたことは非常に幸運でした。

多くの人が、ローマで、夜外出するように勧めましたが、私は夜ディスコやパブなどに出かけて真夜中に公共機関を使用して帰宅することは最後まで好きではありませんでした。多くの友達を作ることはできませんでした。代わりに、何人かの人と仲良くなることができました。私が日本に帰国した後もその友情は長続きすることと確信しております。

ロータリーを通じて私はある人物と知り合い、その彼のお陰で非常に仲の良いイタリア人の友達を作ることができました。彼女とは一緒にお正月を過ごしましたが、これはローマ滞在中の忘れられない出来事の一つです。

2011年3月11日に、日本であの地震が起こった時に私はボランティア活動に参加しました。日本語で書かれた被災地の情報をイタリア語に訳すボランティアです。イタリア人の友人が私を手伝ってくれました。一体何人のイタリア人があの情報を参照したかは不明ですが、イタリア語を知る日本人留学生としてよい活動をしたと思っております。

別の経験としましては、ローマでは人種差別を受けました。このような経験をしたあとは家から出ることが億劫になり、アジア人であるということが私の罪であると考え始めるまでになりました。イタリアに行く前は私が人種差別を受けるということは想像していませんでした。日本は島国だからです。よい経験ではありませんでしたが、もし視点を変えてみるならば、これは人種差別問題について考えるよい機会だったと思います。考え方や振る舞い方は一つではありません。イタリアでの滞在中を通して、私は多くのことを考えました。

これからも、特に翻訳をとおして私はボランティアを続けていくことと思います。このような活動をするには、ロータリー財団の奨学生としてイタリアに滞在することが出来たおかげです。このような機会を与えてくださったロータリアンの皆さまに感謝申し上げます。



### 次回《11月11日》の卓話予定

テーマ「日本外交の今後」

元駐レバノン特命全権大使、作家 天木 直人 様  
（紹介者 田口健太郎 会員）